

平成28年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

課題番号	15H05698	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	水を溶媒として活用する有機化学の革新		
研究代表者名 (所属・職)	小林 修 (東京大学・大学院理学系研究科・教授)		

評価コメント

予定された装置・備品の導入も既に完了し、研究の立ち上げは順調に行われている。既に水中で機能する銅触媒による不斉ケイ素共役付加反応を見だし、水が重要な働きをすること、溶解しない状態の方が高い不斉収率が得られることなど、ユニークな特性を明らかにしている。その他にもいくつかの興味深い反応を見だしており、水が鍵となる反応に関する今後の研究のますますの発展が期待される。また、水中での触媒反応における水の役割の解明が進めば、更なるブレークスルーにつながると思われ、反応機構の解明研究の進展にも期待したい。

研究推進体制に関しては、これまで研究代表者と研究協力者という体制で進めてきたが、研究協力者の一人を本研究の連携研究者として参画させ、研究の一層の推進を図る予定であり、研究推進に有効な体制を整えつつある。